平成28年4月1日
第107号

やかたばら環境通信

◇◇　発行　◇◇
八方原の環境を守る会
代表　黒瀬和美
電話　972・5819

共同作業で施設の機能向上



フォークリフトや、小型のタイヤショベルも使いながらの作業。細かい作業は手作業になるので、やっぱり人手が肝心要。

3月13日、今年度最後の共同作業として水路渡り板改修を行いました。

当会が景観形成事業として植栽管理している花壇は、原田稔裕さんの農場の一部をお借りしています。花壇の管理にはこの農場への入り口渡り板を使用しておりましたが、段差が激しく自動車の運転には注意が必要でした。また設置された渡り板が水路の中に沈み込む傾向があることが分かりましたので、補修をすることになりました。

市道から進入となりますので、市道側への加工は正式な手続きが必要ですので、一切の加工はしません。既存施設に置くだけという形にします。しかし、自動車などが通りますので十分な強度が必要です。

コンクリート製の溝蓋が購入し、それを十分な強さのある金具に設置することにしました。この金属部品については地元の企業「山陽鋼機建設株式会社」に特別にお願いして作成していただきました、

きちんと材料がそろえば、作業はそう難しいものではありません。1時間で見違えるようになりました。



溝蓋を支えるのは茶色の金具が５個

送水管施設を自主作業で管理



西から東に１５ヶ所のミリメートル単位で測定

前号でもお伝えしていますが、揚水ポンプから送水管は、当地区農生産の生命線です。管理工事が長寿命化事業の基準に適合しないということであれば自主管理しかありません。

昨年より測量機器の「オートレベル」を購入していますので、それらの機器をを用いて、基準となる相対的な高さを精密に計測しました。

まず基準となる構造物によって測定基準を定めます。そこからぜん１８０メートルの送水管を一定間隔で測定していきます。今回のデータが今後の基準となります。

新役員決まる 八方原地区総集会

3月13日、八方原地区総集会が開催されました。事情で自治会長が出席できないという特別な状況でしたが、スムースに議事は運営されました。

任期満了で何名かの役員の交代がありました。自治会の会計管理をお願いする会計役には、原田哲夫さんが当たることとなりました。体育部長には佐々木康弘さんが、副部長には矢部弘子さんが当たられます。

平成２８年度八方原自治会役員			
区長	石田　義博	地区宮総代	原田　孝次
公民館長	菊本　弘志	交通委員	**未田　和宏**
会計役	**原田　哲夫**	交通委員	杉山　良明
会計監査	**矢部　彰**	子供会会長	**杉山　良明**
会計監査	中村　丈二	子供会副会長	**津田　歩美**
体育部長	**佐々木康弘**	母子保健推進員	青木　由紀
体育副部長	**矢部　弘子**	福祉委員	藤田恵美子
衛生部長	國田　宏	墓地管理委員	**未定**
消防組組頭	**原田　真澄**	防犯連絡員	田外　元明
消防組副組頭	**佐々木康弘**	防火管理責任者	原田　哲夫
民生委員	佐々木章子	共同募金推進委員	自治会長
老人会会長	神武　正信	※網掛けが改選役職、太字が新任役員	
老人会会計	原田　信義		

体育行事ついては年々参加者が減少しており、行事のたびに体育のお世話をする方は苦労されています。怪我や体調異変の危惧はあるかもしれませんが、地域の親睦が主体の体育行事、特別な事情のない限りは、進んで参加しましょう。

従来から行っている「八方原ふれあい盆踊り大会」について時期をずらして「夏まつり」として行ってはどうかという提案がありました。しかし、この行事は地区の盆踊りの代わりに行われるものであること、時期をずらすことは他の行事とのかぶってしまう可能性が高いことなどから、従来どおりの形で、お盆の前の土曜日に行うこととなりました。また、今回から大会の実行委員長を指名することとなり、本田昇さんがこの役を引き受けてくださいました。

水害対策について考える必要があるという提案がありました。平成21年、22年の大水害のあと、地域としてなんらの対策を講じていないということからの発案だと考えられます。残念ながら自治会長不在でしたので十分な議論には至りませんでした。「こうした専門性の高い課題については関係者の代表者で特別委員会を構成して、議論してはどうか」という意見がでましたが、詳細は4月の会議となります。

除草管理を応援します

刈り払い機の替え刃の配布を行います。これは従来水路の管理のための除草管理をする作業の出来高払いをしていたものが、基準に適さないということになり、作業者を対象に配布してきました。

本年度は、水路管理作業者、共同作業参加者に配布することになりましたので、お知らせいたします。

のぼりと看板でＰＲします

私たちの活動をより多くの方にご理解をいただくために、活動の際に表示する「のぼり」と「看板」を作成しました。看板は両面で、デザインは一緒ですが、背景の図柄などが異なります。

看板は花壇のそばに設置しました。

右下が幟、左下の上下が看板の両面





